

「リニア中央新幹線の非常口建設現場を見学しました」 ～5年生 総合「環境プロジェクト～はじめの一步～」～

1月22日（月）に2，3組、25日（木）に1，4組とあおば学級の児童がリニア中央新幹線の上小山田非常口建設現場の見学に行きました。

はじめの座学では、リニアが磁石で動くことや少し浮いて走ることなど仕組みについて聞きました。また、東海道新幹線が開業60年を迎えることと南海トラフ地震の影響を受けやすい場所であるため、首都圏をつなぐ別のルートが必要であることからリニア中央新幹線が建設されることを聞き、その意義についても理解を深めました。児童からはどうして磁石で走るようにしたのか、予算はどのくらいなのかなどたくさんの質問が出ましたが、どれも丁寧に答えていただきました。

次に、実際に非常口を掘っている現場の見学もさせていただきました。上山田非常口は地下110mをニューマチックケーソン工法という方法で掘り進めていますが、その操作を実際に体験させていただくことができました。児童からは「ゲームみたいでおもしろい。」「ドキドキする。」と感想が聞こえてきました。他にも、実際の鉄筋の一部を触らせていただいたり、ショベルカーの運転席に乗って操作を教わったりと大人でもなかなかできない体験をたくさんさせていただきました。また、ダンプトラックの運転席からの視界を体験し、交通安全にも理解を深めました。

上山田の現場では7時から17時、19時～5時とほとんど1日中工事を進め、それでも1日20cmしか掘り進められない工事を4年ほどかけて105m程まで完成しています。大変忙しい中、児童のために見学の時間をいただいたJR東海はじめ、JR T T、TODA建設、りんかい日産建設の現場の皆様、本当にありがとうございました。

